



WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦


= 築瀬 敦会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30～ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内

TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第 3 4 0 9 例会	No. 2 8	2025.2.19	
点鐘・ロータリーソング	12時30分	「我ら日本のロータリアン歌」	
四つのテスト	黒武者和浩君		
例会行事	ゲスト卓話 テゲバジャーロ宮崎クラブ事業部営業部長 外尾啓太郎様		

会長時間



現在、世界各地でさまざまな国際紛争が発生しており、その多くは長期化し、複雑な要因が絡み合っています。2011年に始まったシリア内戦は、アサド政権と反政府勢力との対立から発展しました。宗教的・民族的な対立や、国際的な勢力の介入により、紛争は複雑化・長期化しています。多くの市民が犠牲となり、難民問題も深刻です。このシリア内戦は、年末に大きな動きがありました。シリアのアサド政権は、2024年12月に反政府勢力であるシリア解放機構（HTS）によって首都ダマスカスを制圧され、崩壊しました。アサド前大統領はロシアに亡命し、モスクワに到着後、大統領を辞任しました。現在、HTS主導の暫定政権が発足し、旧政権下で制定された憲法と議会を当面停止する措置を取っていますが、HTSの前身はアルカイダ系のヌスラ戦線であり、国連やアメリカ、トルコからはテロ組織に指定されています。そのため、新政権の安定性や国際的な承認には課題が残っています。シリア国内では、アサド政権を支持していたアラウィ派の人々が、新たな武装勢力の標的になることを恐れています。また、長年の内戦によるインフラの破壊や経済の停滞、そして多くの難民問題など、解決すべき課題が山積しています。国際ロータリーは、シリア内戦において、どのような支援を行っているのかといいますと、カナダ・ノバスコシア州のアマースト・ロータリークラブは、シリアから2家族を招き、新生活の立ち上げを支援しました。クラブは地域他団体と連携し、家族がコミュニティや文化に適應できるようサポートしています。ロータリークラブやローターアクトクラブの中には、自然災害や紛争などで家を失った人々に、緊急支援物資を提供する国際的な人道支援団体であるシェルターボックスという団体との協力により、シリア国内外の避難民に対してテントや生活必需品を提供し、多くの家族が過酷な環境下での生活を改善することを支援しているクラブがあります。ドイツのベルリン・ティアガーデン・ロータリークラブは、ボランティア医師のネットワークを構築し、ベルリンに到着した数千人の難民に医療サービスを提供しました。また、グローバル補助金を活用して、難民向けのドイツ語教育プログラムを支援しました。2015年から続くイエメン内戦は、シーア派系武装組織フーシと政府軍との対立が中心です。この紛争は、イランとサウジアラビアの代理戦争とも言われ、地域的な権力闘争の側面も持っています。人道的危機が深刻化しており、多くの市民が食糧不足や医療支援の欠如に直面しています。この内戦においての支援も他の紛争への支援と同じように、人道支援や平和構築の取り組みなどが行われていますが、医療崩壊の進行や水道インフラの破壊により2017年以降コレラの大流行が起きました。アメリカやヨーロッパのクラブが医療機器や医薬品を提供する活動を行ったり、清潔な水の提供や衛生教育を実施するため、クラブと財団が、国連機関やNGOと協力し給水プロジェクトや井戸の設置したりなどの支援をしました。1979年にソ連がアフガニスタンに侵攻して始まったアフガン戦争では、長年にわたる紛争が続いており、2021年のタリバンの政権掌握後も不安定な状況が続いています。武装勢力間の対立やテロ活動によ

り、市民の安全が脅かされています。このアフガニスタン紛争の支援には、宮崎アカデミーロータリークラブが取り組んでいます。以前から、アフガニスタンの留学生受け入れを行っていたようで、タリバン政権の復権後、窮地に追い込まれた元留学生たちが、宮大農学部を頼ってきたそうです。迫害の危険から日本に避難したアフガニスタンの元留学生やその家族を支援するために、宮崎アカデミーロータリークラブは「アフガニスタン人道支援コロキウム」を開催しました。このイベントでは、基調講演やパネル討論、文化交流、学生ボランティアによる活動報告などが行われ、収益は宮崎大学のアフガニスタン人道支援に寄付されたようです。詳しく知りたい方は、My Rotary よりロータリーボイスに進むと「アフガニスタン元留学生の命を救え！」というタイトルで、先日、例会に来られた宮崎アカデミーロータリークラブ所属の勢井由美子君の投稿が記載されていますので是非ご覧ください。2014年に始まったウクライナ紛争は、2022年2月のロシアによる本格的な軍事侵攻により激化しました。この紛争は、領土問題やNATO拡大に対するロシアの反発など、地政学的な要因が背景にあります。現在も戦闘が続いており、多くの民間人が被害を受けています。このウクライナ紛争において国際ロータリーが行った活動は、多岐にわたる人道支援と平和構築への取り組みです。2022年3月3日から2023年12月31日までに、ロータリー災害救援基金に1,730万ドル以上の寄付が集まりました。この資金は、ウクライナ難民や戦争被災者を支援する400件以上の補助金として活用され、緊急医療物資の提供、避難所の提供、食料や医薬品の供給など、多岐にわたる人道支援が行われました。ウクライナへの救援物資をトラックで輸送し、必要とされる地域に迅速に支援を届けるという活動を オーストリアのローターアクトとロータリーのメンバーが行ったそうです。平和構築の取り組みとして、国際ロータリーは、ウクライナでの紛争解決に向けて、ロータリークラブのメンバーを国際的な観察団として派遣するなど、積極的に取り組んでいます。また、ロータリー平和フェローは、国際ロータリーが運営するロータリー平和センターを通じて提供される奨学金制度の受給者のことで、平和構築や紛争解決を専門とするリーダーの育成を目的としています。このロータリー平和フェローがウクライナにおける人道支援や復興支援に携わり、現地の人々との交流や支援活動を通じて、平和の尊さと脆さを実感し、持続的な平和と地域振興を目指す取り組みを行っています。当事国であるウクライナのロータリークラブによる活動をいくつか紹介しますと、チェルカスイ・ロータリークラブは、地元の複数の病院のために医療物資と医薬品を購入・配達しました。クラブはまた、スムイ、ヘルソン、ハリコフ、チェルニヒウから避難してきた250家族のために毎日の食を手配しました。ハリコフ・インターナショナル・ロータリークラブの会員数名は、国境を接する国に赴き、避難民たちが新しい生活に適応できるよう援助しています。キーウ・シナジー・ロータリークラブは、イタリアから350箱分の医療物資を調達し、キーウとスムイに配達しました。キーウ・ソフィア・ロータリークラブは、キーウとイルピン-ブーチャの住民たちに温かい食事を準備し、届けたり、衛生用品と医薬品を購入し、若い母親や高齢者に配ったりしました。リヴィウ・ロータリークラブの会員は、欧州諸国から届いた救援物資の荷下ろしと整理を手伝い、ウクライナ各所の救援物資収集場所に届けるための手配を行っています。 このように、自身の生活も心配であるはずなのに、支援を必要とする人々に手を差し伸べるウクライナのロータリアンの方々には頭の下がる思いであります。もし、わたしたちが・・・と考えたとき、果たして同じような行動がとれるかわかりませんが、万が一、そのような状況に陥ってしまったときは、自分のできる範囲で周りへの支援をできるような人間でありたいものです

委員会報告

○ロータリー情報委員会

MY ロータリー登録について現在どれぐらい登録ができているか把握できていませんので今からアンケートを回しますのでご回答をお願いします。それとロータリアンという冊子がありますので必要な方がいましたらお知らせください。

峰松ガバナー補佐アドレス

宮崎県南部グループの件ですが、西本ガバナーエレクトより、串間はあくまでも宮崎県なので、南部部グループとして続けて頂きたいという事なので、次年度は宮崎県南部グループと一緒にということになりますが、来週、英会長と話し合いをする予定となっておりますが、その結果次第で、次次年度の宮崎県のグループ編成が替わることになるかと思います。来年度のカバナー公式訪問日の件ですが、串間 RC は英会長お一人であることと、日南中央ロータリークラブの会場が狭いということなので、10月1日の日南ロータリークラブにおいて3クラブ合同のカバナー公式訪問例会としてしていただけないかと提案したいと思いますので理事会にて協議していただけないかと思います。



社会的ミッションになりますがまだまだ足りていないと思いますが、
宮崎市、都城市、新富町でさまざまな活動を行っています。

数字については売上高は昨年2億1800万円でした。それに比べて浦和レッズは100億円です。50倍も違います。しかし、浦和レッズぐらいになる可能性はゼロではありません。そこを目指して頑張っているところでございます。

収入源の約6割弱はスポンサー収入となりますが去年は1億1000万円でした。スポンサーは看板を出したり、ユニフォームに広告等がありますが、テゲバジャーロ宮崎のスポンサーの商材を全部売ると4億ぐらいになります。浦和レッズは100億以上です。これがJ3の限界です。スポーツビジネスはたくさんの集客をして成り立っています。私たちフロントの仕事は試合の勝ち負けに関係なく土日のレジャー感覚でお客様に来ていただく企画をする事です。23日に千ぐまきを行います。お菓子だけでなく1個だけ5万円の商品券を入れたり日本航空がスポンサーなので東京往復航空ペアチケットを入れたり、子供たちだけでなく大人に来ていただけるようサッカーの試合以外のイベントを一生懸命考えているところです。テゲバジャーロが面白いことをやっていると思われるように今年1年やっていきたいと思います。昨年の平均来場者は1100人でした。Jリーグ中で一番少ないです。1000人台は宮崎だけです。全然お客様が来ていない状態です。それを変えていけるのが我々フロントの仕事です。あそこに行ったら面白いことがあるとか、今度の日曜日に行ってみようと言われるようにしていきますので、今後のテゲバジャーロ宮崎にぜひご注目頂ければと思います。後日皆さんの元に商品カタログをもって伺いますのでお気に召す商品がございましたら契約いただけるとありがたいと思います。一度サッカーを見に来ていただければと楽しさがわかると思います。今日はお時間をいただきありがとうございます。



幹事報告

1. 地区事務所より、串間ロータリークラブの連絡先変更が届いております。

	(旧)	(新)
電話番号	72-6647	55-5100
ファックス	72-6657	55-5101

2. 地区事務所より、ガバナー月信2月号が届いております。

3. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、

”ハイライトよねやま No299号”が届いております。

4. ロータリー希望の風奨学金より、”風の便り”(通刊124号)が届いておりますので、回覧致します。

スマイル

斉藤 篤史君 バッチを忘れてしまいました。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C 出席	M U	欠席	出席	出席率(%)
今 週	30	7(4)	26	19	3	4	22	84.61%
出席免除	落丸、清水、野崎、渡邊、							
先取M U	竹井、富満、西田							
欠 席	榎木田、斉藤奈々花盛、古澤							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください